

# 巻頭言

理事長・編集長 宮田和実

以前にも、年々時間の経つのが早く感じられるという話をしましたが、NHKの「チコちゃんに叱られる」で、それは、ときめくことが少なくなつたからであるという話をしていました。確かに、最近ときめくことがなくなつたように思いますが、最後にときめいたのは、かみさんに会つた時だから、もう十年以上前になる。…なんて、この部分を書いているのが、四月一日(エイプリルフール)なので、御容赦ください。

早いもので、今年も桜の季節を過ぎ(去年夏の猛暑から、今年は早いかと思つていました)、開花・満開共、平年よりかなり遅かつたとか? 残念ながら、今年も花見には行けませんでした)、総会の季節を迎えることになりました。

今年役員改選がないので、大きな変化はないのですが、年度中に創立七十周

年を迎えることもあつて、その準備やら会員の皆様から提案のあつた会費の徴収方法の改革やらで、のんびりしている訳にもいきません。

まず、総会に当たりまして、二〇二三年度の活動報告から行いたいと思います。二〇二三年度はコロナ禍がほぼ収束したことを受けまして、会議(理事会)を、以前のように、対面で行うようになりました。例会も、毎月、講演会、野外例会など、以前と同様に、活発に開催することができました。会誌「みみより」も、隔月で滞りなく発行することができました。

各部・各サークルの活動報告は、この後の頁を御覧ください。

会員の皆様には、例会への参加や、みみより誌の寄稿・購読など、みみより会の活動に御協力を賜りましてありがとうございます。二〇二四年度も、相変わりませず、よろしくお願い致します。

私個人としましては、大殺界の中、二月に発症した痛風は、普通に歩けるよう

になるまで一ヶ月以上を要し、三月末に再発、腎臓病の悪化を招くため、痛み止めの飲み薬は飲まず、湿布で痛みを緩和して、何とか凌いでいます。不自由さが増した左手は、漸くりハビリの予約が取れ、通い始めました。腰痛の方は、今のところ、激しい痛みはなく、ほつとしています。

長年、那須塩原市で務めていた手話教室の講師は、メインを後進に譲つて、今年度は、自由な時間を多く作りたいと思つています。

能登に続いて、台湾大地震が起こるなど暗い話題も多いようですが、明るい話題としては、エンゼルスからドジャースに移籍したMLBの大谷翔平選手の結婚、そして、相変わらずの活躍でしょうか。通訳の解雇という精神的な重圧から一日も早く立ち直つて、大活躍して欲しいと祈っています。秋には、二刀流の復活もあるかも? と楽しみしています。

みやた × ×  
かづみ(栃木県那須塩原市)